

第31回全日本ユースけん玉選手権大会 第36回全日本学生けん玉選手権大会 第23回全日本フリースタイルけん玉選手権大会 第23回全日本けん玉学生・社会人対抗戦

主催：日本学生けん玉連盟
後援：公益社団法人日本けん玉協会
日時：2022年9月23日（金） 9時30分受付開始（9時開場）
場所：かながわ県民センター 302会議室
参加費：学 生：1大会出場ごとに500円
（中学生、高校生、短大、大学生、専門学校・大学院）
社会人：1大会1000円
申込み：当日申込み

第31回全日本ユースけん玉選手権大会

参加資格

- ・2022年4月2日現在で、中学生以上で32歳以下であること。
※開催できなかった3年分のオーバーユースを加味しています。

試合形式

- ・予選
 - ①中学生、高校生、大学生（短大、専門学校、大学院生含む）、社会人の部別表1の選技10種目を各種3回ずつ行う（30点満点）。
 - ②各部門の最高得点の者が決勝トーナメントへ進出する。但し、部門1位タイが2名以上のときは複数名の時は、別表1の第1選技から順番にサドンデスを実施する。どちらかが成功し、もう一方が失敗し進出者が決定するまで実施する。
 - ③各部門の1位を除いた残りの選手のうち予選得点の高い選手から、②にて進出した人数と合わせて10名までになるまでが決勝トーナメント進出者とする。
 - ④10位タイが2名以上のときは複数名の時は、別表1の第1選技から順番にサドンデスを実施する。
 - ・決勝トーナメント
 - 1・2回戦
別表1の選技10種目を各種1回ずつ行い（10点満点）、成功回数の選手を勝者とする。ただし、同点の場合は、別表3の条件を抽選し、その条件を加えたかたちによる別表1の第1選技から順番にサドンデスにて勝者を決定する。なお、条件はその試合限り、有効。
- 準決勝戦・決勝戦
別表2の選技10種目を各種1回ずつ行い（10点満点）、成功回数の選手を勝者とする。ただし、同点の場合は、別表3の条件を抽選し、その条件を加えたかたちによる別表2の第1選技から順番にサドンデスにて勝者を決定する。

第36回全日本学生けん玉選手権大会

参加資格

- ・大会当日現在、大学、短大、専門学校、大学院に籍をおく者。
- ・2019年～2022年の間に上記に籍を置いていたもの。

試合形式

- ・予選
別表1の選技10種目を各種3回ずつ行い（30点満点）、成功回数上位8名が決勝トーナメントに進出する。
なお、8位タイが複数名の際は別表1の第1選技から順番にサドンデスを実施する。どちらかが成功し、もう一方が失敗し進出者が決定するまで実施する。
- ・決勝トーナメント
 - ① 6種目、3本先取勝ちとする。
 - ② 1、2本目は提示種目戦とする。（詳しくは、別記「種目提示戦」を参照。）
 - ③ 3本目以降は、1回戦は別表1、準決勝戦及び決勝戦は別表2の選技を抽選する。
なお、各選技は最大3回までとし、相互に実施し片方のみが成功すれば1本先取とする。
 - ④ 2対2となり次第、あるいは6本終了時点1対1の場合は、1回戦は別表1、準決勝戦及び決勝戦は別表2の選技に別表3の条件を抽選し、その条件を加えたかたちによる、サドンデスにて勝者を決定する。なお、条件はその試合限り、有効とする。
- ・団体戦
同一の学校にて、2名以上参加した場合、予選得点高い3名の合計得点で競う団体戦を実施する。ただし、2名の場合は2名の合計とする。

第23回全日本けん玉学生・社会人対抗戦

参加資格

- ・中学生以上であること。

試合形式

- ・予選
別表1の選技10種目を各種3回ずつ行い（30点満点）、学生の部（大学生以下）と社会人の部それぞれの部門で成功回数上位8名までの選手が部門別決勝トーナメントに進出する。
なお、8位タイが複数名の際は別表1の第1選技から順番にサドンデスを実施する。どちらかが成功し、もう一方が失敗し進出者が決定するまで実施する。
- ・部門別決勝トーナメント
別表1の選技10種目を各種1回ずつ行い（10点満点）、成功回数の選手を勝者とする。ただし、同点の場合は、別表3の条件を抽選し、その条件を加えたかたちによる別表1の第1選技から順番にサドンデスにて勝者を決定する。なお、条件はその試合限り、有効。
また、部門別優勝者、準優勝者は対抗戦決勝トーナメントへ進出する。
（各部門2名・合計4名）。
- ・対抗戦決勝トーナメント
別表2の選技10種目を各種1回ずつ行い（10点満点）、成功回数の選手を勝者とする。ただし、同点の場合は、別表3の条件を抽選し、その条件を加えたかたちによる別表2の第1選技から順番にサドンデスにて勝者を決定する。

第23回全日本フリースタイルけん玉選手権大会

参加資格

- ・中学生以上であること。

試合形式

・予選

別表1選技10種目を各種3回ずつ行い（30点満点）、成功回数上位16名（同点の場合1回目の成功数が多い方が上位）とし、決勝トーナメントに進出する。

なお、16位タイが複数名の場合は別表1の第1選技から順番にサドンデスを実施する。どちらかが成功し、もう一方が失敗し進出者が決定するまで実施する。

・決勝トーナメント

- ① 4種目、3本先取勝ちとする。
- ② 全て種目提示戦（詳しくは、別記「種目提示戦」を参照）にて実施する。
- ③ 2対2の場合は、別表2の選技に別表3の条件を抽選し、その条件を加えたかたちによる、サドンデスにて勝者を決定する。
- ④ 後攻側が1種目しか種目提示ができないまま配線した場合に限り、希望によりもう1つ種目提示を行うことができる。

種目提示戦

- ・お互いに種目（技）を提示し、勝敗を競う。
 - ・一方の選手が種目を提示し、提示者、対戦者の順で種目提示を行う。
- なお、試技の条件は最大2回までとなり、勝敗の決定も含め、下記のとおり実施する。

- ① 提示者1回目成功、対戦者1回目成功 【対戦者1本】
- ② 提示者1回目成功、対戦者1回目失敗 【提示者1本】
- ③ 提示者1回目失敗、対戦者1回目成功 【対戦者1本】
- ④ どちらも1回目失敗の場合は、2回目を実施。2回目に関しても上記と同様。

・提示種目の定義

- ① 既存の技でも、新たに考案した技でもよい。
- ② 大会中に自身が提示した技は1回限りとする。（他者が提示した技は提示可能）
- ③ 複数の技（同一含む）を組み合わせることはよい。ただし、最大5つとすること。
また、宇宙一周のよう1つの技と成立されている連続技は、1つとして数える。
※空中技に限り、全ての技を空中技で構成すること。
（空中技とはけん玉が手から完全に離れ、その際に玉にけんがささっていないこと）
- ④ 提示種目者は1分以内、対戦者は3分以内に試技を終えること。
- ⑤ 提示種目者は事前に種目名を宣告する。また、対戦者ないし審判がわからない場合は技の説明も行うこと。また、対戦者の同意を得れば、模範演技を可能とする。
- ⑥ 使用けん玉は1試合1本とする。
- ⑦ けん玉の形状を著しく変化させたり、自分のけん玉でしかできない技は不可とする。
また、けん玉の形態を変える必要がある技（糸をはずす等）は不可とする。
- ⑧ 公序良俗に反する技は不可とする（技名も含む）。
- ⑨ 身体的要素を取り入れた技は、主催者もしくは審判団判断で不可とする場合がある。

- ・最優秀提示種目賞
提示種目の中で「独創性」や「高難度」など、秀でた技には最優秀提示種目賞を与える。
条件としては、提示種目者が成功すること。
ただし、決勝トーナメントに進出できない場合は1種目試技2回の挑戦を可能とする。
※フリースタイル選手権に限り、決勝トーナメント1回戦の後攻者が3-0による負けとなった場合に限り、その選手はもう1種目挑戦することができる。※合計2種目可能。

条件付きサドンデス

・上記にも記載した通り、同点で勝敗がつかない場合は、条件付きサドンデスを実施。
(タイム競技は廃止となります。)

～説明～

- ①第1選技もしくは第2選技から順番に実施する。
- ②別表3の条件を抽選する。
- ③第10選技終了時、勝者が決定していない場合は再度抽選にて条件を決定する。
- ④以降繰り返して勝者を決定する。

～注意点～

- 2番「片足立ち」については、技の開始から審判の合図があるまで片足であること。
3番「2回連続」については、審判の一回目成功の合図確認後手でおろし、二回目を開始すること。

選 技 内 容

| 別表1 | |
|-----|--------------|
| 1 | 宇宙一周 |
| 2 | けん先すべり～地球まわし |
| 3 | つるしとめけん |
| 4 | うらふりけん |
| 5 | さかおとし |
| 6 | うぐいす～けん |
| 7 | 一回転飛行機 |
| 8 | ふりけん～世界一周 |
| 9 | はねけん |
| 10 | 一回転灯台 |

| 別表2 | |
|-----|----------------|
| 1 | 二回転飛行機 |
| 2 | つるし一回転飛行機～はねけん |
| 3 | うぐいすの谷渡り |
| 4 | つるし一回転灯台～とんぼ返り |
| 5 | 宇宙一周～地球まわし |
| 6 | ろうそく返し |
| 7 | 二回転灯台 |
| 8 | 宇宙遊泳 |
| 9 | すべり止め極意 |
| 10 | 円月殺法 |

| 別表3 (条件) | |
|----------|--------|
| 1 | 通常通り |
| 2 | 片足立ち |
| 3 | 二回連続 |
| 4 | 椅子に座って |

それぞれの技については「けん玉の技123」や過去の日本けん玉協会主催大会による競技ルールを参照すること。

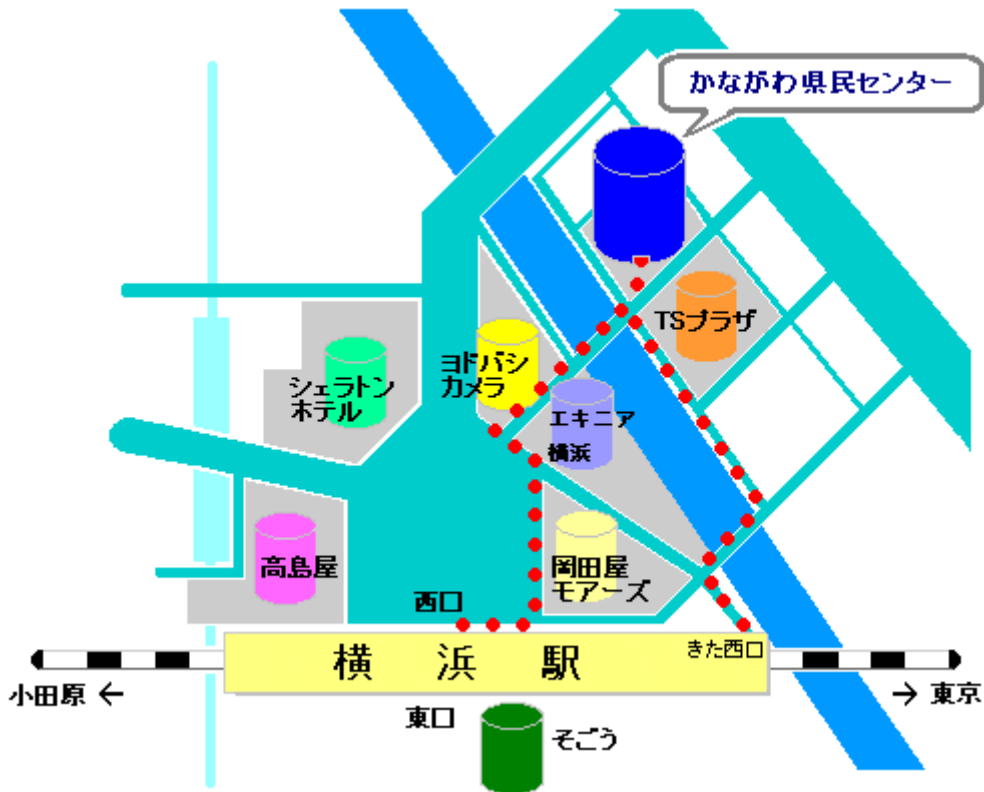
使 用 け ん 玉

- ・日本けん玉協会認定の競技用けん玉を予選では1本、決勝では1本とすること。
- ・けんの長さは15cm以上、摩耗1cm以下であること。
- ・玉の穴は原形を保持していると認められること。
- ・特殊な加工（切り込み、やすりがけ、着色等）を施していないこと。
- ・糸の長さは自由とする。
- ・その他、主催者の判断により、使用の可否を決定することがある。

連絡先

- ・ご不明点等あれば、E-MAIL (t.tsu291@gmail.com) までご連絡ください。
- ・また、公式twitterやfacebookも開設しておりますので、「日本学生けん玉連盟」で検索。

アクセス



所在地：横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2

公共交通機関：JR・私鉄「横浜駅」西口・きた西口を出て、徒歩5分

横浜市営地下鉄「横浜駅地下鉄出口8から、地下街をとおる「中央モール」を左折し「北6」出口を出て、徒歩2分